



社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター
福島県委託事業

ブルーベリー花言葉：「実りある人生」「有意義な人生」



福祉・介護のお仕事とは

福祉・介護のお仕事は、あなたの人生経験が様々な場面で役に立ちます。
あなたが経験してきたことの全てが、人を幸せにする力を持っています。
この冊子との出会いから、あなたの新たな1ページがはじまりますように…。

身近にある「高齢者施設」のいろいろ

地域には、高齢者、障がい者、児童など、福祉サービスを必要とする方が利用できる、いろいろな施設・事業所があります。高齢者施設を例としてご紹介します。あなたのライフスタイルに合った働き方を探してみませんか？

「入所型」 施設に入所・入居している利用者に、24時間365日、介護サービスを提供します。日勤や夜勤などの働き方があります。



特別養護老人ホーム

要介護者が暮らす施設です。食事・入浴・排泄などの介護や生活に関する支援を行います。

介護老人保健施設

要介護者の在宅復帰を目指し、看護・医学的管理のもとで介護や機能回復訓練などを行います。

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が共同生活をする施設で、介護や日常生活に必要な支援を行います。

軽費老人ホーム(ケアハウスなど)

自宅での生活に不安がある高齢者を対象とした施設で、日常生活上の支援を行います。

介護付き有料老人ホーム

介護等のサービスを提供する高齢者向けの施設で、「介護専用型」「混合型」があります。

サービス付き高齢者向け住宅

高齢者住まい法に基づく賃貸住宅で、生活相談サービスの他、介護サービスを行います。

「通所型」 自宅で暮らす利用者が通う施設で、主に日中、介護サービスを提供します。

通所介護(デイサービス)

自宅で生活している要介護者に、食事入浴の提供や、機能訓練などを行います。



「訪問型」 利用者が暮らす自宅を訪れて、介護サービスを提供します。

訪問介護(ホームヘルプサービス)

日常生活に支援が必要な要介護者の自宅を訪問して介護、家事などの生活支援を行います。



チームで支える！福祉・介護の仕事

福祉・介護の職場では、介護職をはじめ様々な職種のスタッフが連携して利用者の日常生活をサポートしています。

介護職・ホームヘルパー

食事や入浴、排泄など、利用者が一人で行うことが困難な生活全般の支援をします。ホームヘルパーは、このほか利用者の自宅を訪問し、通院や買い物などの外出、調理などの生活支援も行います。



介護補助(介護助手)

清掃、洗濯、食事の配膳・下膳、シーツ交換など、介護職員の補助的な業務を行います。



生活相談員・ケアマネジャー

利用者や、その家族の話をよく聞き、自立した日常生活が送れるよう、心身の状況・状態に合わせた最適な介護サービスを計画します。



栄養・調理系スタッフ(調理員・管理栄養士・栄養士など)

利用者の健康や栄養状態に合わせた献立の食事を調理し、栄養面から健康をサポートします。



医療系スタッフ(看護師・理学療法士・作業療法士など)

利用者の病気や状態に応じた健康上のケアや医療的ケア、身体の障がいの機能回復(リハビリテーション)などを行います。



事務関係職・管理職

事務関係職は、窓口業務や経理など、施設や事業所における様々な事務処理を担当します。管理職は、職場全体を統括し、職員が働きやすい職場づくりや施設の運営などを担います。





わたしの 転職 Story

介護の仕事は、 誰でも正義の味方になれます

ししど やすひろ
穴戸 康浩さん(60代)

- ◆前職:自衛官 ◆勤務年数:8年目 ◆職種:介護職
- ◆お勤め先:医療法人生愛会 生活期総合リハビリテーション医療ケアセンター 生愛ヒルトップ・ルネサンス(サービス付き高齢者向け住宅→P1)
- ◆現在の介護資格:介護職員初任者研修(→P11)

人の役に立ちたい一心で介護の世界へ

自衛官として災害派遣活動を経験する中で、定年後も人の役に立つ仕事をしたいと思うようになりました。東日本大震災の災害派遣に従事している間に50歳になりました。自衛官は54歳が定年です。35年間の自衛隊勤務を振り返った時、人を助ける仕事がしたいと考えました。定年を迎える3カ月前、介護施設に就職した先輩が教えてくれた介護職員初任者研修の受講を決めました。同時進行で介護職の求人を探し、タイミングよく求人が出ていた医療法人生愛会の施設見学をさせていただきました。「新しくきれいな施設だな」というのが第一印象です。前職とは全く異なる環境に戸惑いましたが、とにかく「人の助けをしたい」という気持ちの方が強かったので、介護の道に迷いはありませんでした。

積極的に行動し、不安やプレッシャーを払拭

現在、サービス付き高齢者向け住宅で暮らす入居者様のサポートをしています。食事介助や排泄介助、外出の際の送り出し、安否確認も含めた居室確認、掃除、シーツ交換などです。働き始めた頃、まずは自ら率先して行動しようと心がけました。例えば、ナースコールがあったら「私が行きます」とか、一人では対応が難しいようなところに進んでお手伝い

入るとか。待ちの姿勢ではなく、積極的に行動しようと決めています。

とは言え、施設にかかってくる電話1本取るだけでも、最初は緊張して体重が減る思いでした(笑)。ベッドから車イスへの移乗も、体が思うように動かせない方もいるため、うまくいきません。介護のコツは、先輩に聞きながらつかんでいきました。夜勤も慣れないうちは、「40数名の命が自分の両肩にかかっている」みたいなプレッシャーがありましたが、経験を積み介護の技術が上がっていくほどに払拭されていきました。

目標は70歳。可能ならその先も働きたい

介護職に就いて8年目です。一番の喜びは、やはり入居者様の笑顔です。車イスからベッドへの移乗、着替える時など、お手伝いすることに対して返してくださる皆さんの笑顔が励みです。うまく言葉が出ない方でも表情を見れば分かります。コロナ禍で一時、お休みしていた週2回の移動スーパーも再開しました。買い物をされている時の皆さんの表情も好きですね。この仕事が自分の生活を豊かにしてくれているので、可能であれば70歳まで働きたい、健康で続けられるならその先も思っているところです。



こんな仕事をしています



週2回、移動スーパーが施設を訪れて、入居者様が買い物を楽しまます



「何かお探ですか？」声をかけながら入居者様をサポートします

福祉の仕事を考えている みなさんへ

介護は、自分の仕事の結果として笑顔が返ってきます。そして、誇りを持って人助けができる仕事です。この仕事をしている8時間は、誰でも正義の味方になれます。施設の見学をするなど、興味があったら、ぜひ一歩を踏み出してください。



35年間、自衛官として勤務。第二の人生は、介護の道で人の役に立ちたいと決意



事業所の方からメッセージ



医療法人生愛会
生活期総合リハビリテーション医療ケアセンター
生愛ヒルトップ・ルネサンス
介護福祉士 廣瀬美由紀さん

介護というと人のお世話をするイメージが強いかと思いますが、入居者様から教わるのがたくさんあります。入居者様と同じ時間、空間を共有しながら青空や満月、打ち上げ花火を眺めたり、イベント等の楽しさを分かち合えたりする素敵な仕事です。資格や経験がなくても初任者研修→実務者研修→介護福祉士とスキルアップしていけます。年齢も問いません。お子さんが小さければ短時間就労も可能です。お給料も決して安くはない。逆に高いんじゃないかと思えます。制度もしっかりしているので安心して働けると思えます。



わたしの
場合

こんな経験が活かしています!

人の助けをしたい
気持ち

自衛隊で鍛えた
積極性

周囲をサポートする
協調性



わたしの
転職
Story

資格や経験がなくても 応募できる介護助手に挑戦

おか べ
岡部 みよ子さん(60代)
◆前職:パン製造・配達 ◆勤務年数:2年目
◆職種:介護助手
◆お勤め先:医療法人社団 慈泉会 グループホーム南湖(→P1)

福祉人材センターを活用して就職へ

以前は、パン屋で学校給食のパンの製造や配達の仕事を担当していました。60歳を過ぎ、体力的にきつくなってきたこともあり転職を考えていたところ、「介護助手募集」の折込広告を見つけたんです。資格や経験がなくても大丈夫、勤務時間は相談に応じるとありました。介護は、父母と義父母で多少経験しているので、身近に感じていました。仕事は続けたかったので区切りのいいところで前職にピリオドを打ち、思い切って福祉人材センターに電話しました。親身に対応していただき、通勤、勤務時間なども考えて応募先を検討。福祉の仕事相談会も利用して就職活動を続け、3カ月くらいで就職が決まりました。施設の人事担当の方が、熱い思いで私を引っ張ってくださったことにも感謝しています。

無理なく働けています。転職してよかった

グループホームの介護助手として、午前10時30分から午後3時まで働いています。主に調理を担当しており、利用者さんとスタッフの皆さんの昼食を作っています。

料理は、「おうちで作る感じで」と、言っていたのですが、なにしろ12人分の料理ですので、コツをつかむまではなかなか「おうちの料理」とはいきませんでした(笑)。今ではすっかり慣れ、食べやすく柔らかめに仕上げるとか、マンネリ化にならないよう味付けを工夫するとか、これまでの経験を活かし、私なりに手間をかけて

います。料理を出したときに「うわ〜っ」「美味しそう」と、皆さんが声を出して喜んでくださると、やはりうれしいです。仕事の内容も自分に合っており、無理なく働くことができ、転職してよかったです。

利用者さんと一緒に楽しい昼食づくり、さらなるステップアップへ

グループホーム南湖は、家庭的な雰囲気をとても大事にしています。リビングの一角にあるキッチンで料理をする時は、包丁が使える利用者さんは野菜を切ったり、包丁が難しい方はキャベツの葉を手でちぎったり、盛り付けを手伝ったり、とても和やかです。そして、平均年齢90歳なんて微塵も感じさせないほど皆さん若々しい。一緒に料理するのが楽しくて、あっという間に1年が過ぎてしまいました。

2年目に入り仕事に余裕が出て来た頃、介護の奥深さに気づき、もっと利用者さんに関わりたいという気持ちが高まってきました。利用者さんとお話が噛み合わない時などは、否定するのではなく「うん、うん」と聞いてあげることが大切と思って自分なりに対応していましたが、認知症の正しい基礎知識を勉強したいと考え、現在「認知症介護基礎研修」をオンラインで受講しています。修了すると、利用者さんともっと深く関われるようになるので、頑張りたいと思っています。



こんな仕事をしています



利用者さんと一緒に楽しく食事を作ります



日常的な会話も大切にしています

福祉の仕事を考えている みなさんへ

介護の経験は、父母と義父母のお手伝いをしたくらい。資格は持っていませんでした。でも大丈夫です。介護の現場は、人と話すことが好きな方にぴったりの仕事です。介護助手のような補助的な仕事も、介護職員の方々の仕事を支える大切な仕事だと思います。一緒に働きましょう。



事業所の方からメッセージ



グループホーム南湖
管理者 合田泰典さん

グループホームの仕事は、利用者さんの困り事などを私たちの関わりによって、安心や笑顔に導くことができるので、携わっていて良かったと感じる部分がたくさんあります。また、職員と管理者が話しやすい雰囲気作り、働きやすい職場作りにも努めています。勤務体制もパートタイムなど、個々の事情に寄り添いながら働けるようにしています。仕事の幅を広げる資格取得も応援しています。人とのコミュニケーションが好きな方、高齢者とのお話が好きな方は、求職活動の選択肢の一つに考えていただくとありがたいです。

わたしの場合

こんな経験が活かしています!

- 高齢の両親との会話や関わり
- 普段作っている家庭料理
- 人を笑顔にする「食」の提供



わたしの
転職
Story

介護の仕事のきっかけは「おばあちゃん子」でした

おお たい こう いち
大谷 浩一さん(50代)

◆前職:会社員(製造事務) ◆勤務年数:7年目 ◆職種:介護職
◆お勤め先:社会福祉法人啓和会 特別養護老人ホームしょうぶ苑(→P1)
◆現在の介護資格:介護福祉士(→P10)

見学した施設のあたたかなケアが就職の決め手に

私自身は祖母のことが大好きな「おばあちゃん子」として育ちました。具体的に福祉の仕事希望していたわけではありませんでしたが、体調を崩して前職を離職した後、資格だけでも取っておこうと思いました。啓和会のグループ企業が求職者支援訓練として開催している実務者研修を受講すると、プログラムの中に施設見学がありました。複数カ所提示された中にあった特別養護老人ホームしょうぶ苑を訪ね、アットホームな雰囲気のユニットケアがとても心に残りました。半年間の研修が修了して再就職先を決める時、しょうぶ苑のあたたかなケアを思い出し、介護の仕事に就こうと思いました。

利用者様をチームで支えています

職場では利用者様が必要とする援助をチームで共有し、専門的な働きかけを行うことを大切にしています。どのようにしたら利用者様の希望に沿うことができるか、一緒に希望がかなえられるか…心配り、思いやり、アットホームな雰囲気というのは、そうした中から自然に出てくるもののように思います。

以前、利用者様と職員とでペアを組み卓球大会を開いた

ことがありました。車いすの利用者様と熱戦が続く中、普段立てない方が立ち上がったことがあり、その時はみんなびっくり!企画して良かったと思いました。

ユニットリーダーになってからは、働きやすい環境を整えることにも力を入れています。悩んでいる職員がいたら、その都度話を聞くようにしています。話すことで、心が軽くなったりしますからね。

もっと学びたい介護・福祉のこと

働き始めた頃は研修で学んだ知識と実践とのギャップに悩んだこともありましたが、認知症の方との関わりなかで改めて知識の大切さに気づきました。もっと認知症の利用者様を理解したいと思い、働きながら介護福祉士の資格取得を目指しました。取得すると、知識や技術が支えになり、考え方が楽になりました。学ぶほどに見えてきたのが「受容」と「共感」、「謙虚な気持ち」でした。資格を取得してからは私のように介護福祉士を目指す仲間のために勉強会を開催しています。現在はさらなるスキルアップを目指して社会福祉士の資格取得を目指しています。

「おばあちゃん子」からはじまった介護の道は、私自身の人生の大きな道へとつながっています。



こんな仕事をしています



利用者様のできることを見守ります



1人ひとりに合わせた食事を配膳します

福祉の仕事を考えているみなさんへ

人生経験が役立つ部分も多く、資格、学歴、年齢も問わない介護は、40、50代で転職を考えている方に推したい仕事です。大変なこともありますが、楽しいことや学びもたくさんありますし、キャリアパス制度*により、明確な目標を持てるので長く働けます。

*キャリアパス制度 職務経歴上の道筋となるもの。キャリアアップのために必要な資格や能力が明確に示されているため、職員が目標を持って働き続けることができます。



事業所の方からメッセージ



社会福祉法人 啓和会
法人本部 企画調整課
課長 小関幸太さん

現在の介護の現場は、給与面、職場環境においても働きやすくなっています。私共の法人には、無資格・未経験の方、他業種から転職されてきた職員さんがたくさんいます。休日数は、年間115日(月平均9.58日)です。育休取得率は100%で、男性職員の取得も増えています。令和3年度の離職率は9.4%と、全国の医療・福祉業界の平均離職率よりも低く抑えられています。資格取得も応援しています。介護はこれからもなくてはならない職業です。ぜひ、一緒に働いてみませんか。

わたしの場合 こんな経験が活かしています!

- おばあちゃん子だったこと
- 事務職で培ったパソコンスキル
- 学び続ける姿勢

気になる、福祉・介護の職場環境！

いまだ介護のお仕事に対するマイナスイメージも少なくないですが、現在では、介護職員の処遇改善や労働時間法制の見直し、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保など、国・業界を挙げて職員の働きやすい職場づくりが進められています。

福祉の仕事はじまりのノート



賃金について

福島県福祉人材センターでお取り扱いしている求人票における基本給・手当の平均額です。基本給に各種手当が加算され、賃金として支給されます。

◆正職員 (令和3年度 福祉人材センター求人における平均値)

職種	基本給	手当	
		資格手当・処遇改善手当等	夜勤手当(1回)
介護職(ヘルパー以外)	170,139~227,141円	16,356~22,142円	5,400円

◆非常勤・パート

職種	時給
介護職(ヘルパー以外)	862~1,005円

基本給 年齢や経験、所持している資格によって異なります。施設・事業所ごとに定められたキャリアパス制度と連動しており、昇給することで基本給も上がります。

手当 扶養手当、住居手当、通勤手当、資格手当、夜勤手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

手当の例



資格手当 所持している資格によって施設・事業所で定められた手当が付き、資格により金額が異なります。

夜勤手当 夜勤に入ることによって手当が付き、施設・事業所によって夜勤の勤務時間や、金額に違いがあります。

処遇改善手当 介護職員の処遇を改善するための手当です。処遇改善手当を取得している施設・事業所で支給される場合があります。

教育体制について

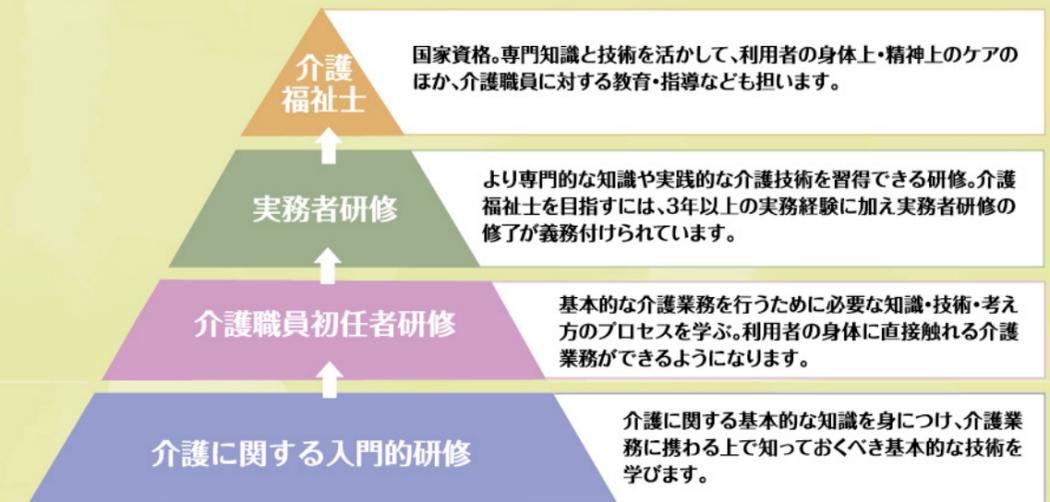
新人職員に対しては、施設・事業所で教育を行っており、入職後に業務について学びます。

さらに手厚い指導体制として「一定期間、先輩職員がマンツーマンで指導する仕組み」である「プリセプター制度」が設けられている施設・事業所もあります。一人ひとりの理解度や技術力に合わせて丁寧な教育を行い、職員の成長を促しています。



資格について(介護編)

働きながら経験を積み、経験年数によって資格を取得してキャリアアップできるのは、介護の仕事の大きな魅力のひとつです。



※法改正により、資格取得の条件が変わる場合があります。

休日について

施設・事業所では利用者の生活を支えるために早番、日勤、遅番、夜勤など、様々な勤務形態の職員が交代で勤務しており、正規で働く介護職員の場合、年間休日は平均して※年間111日、週に換算すると週2日ほどお休みがあります。

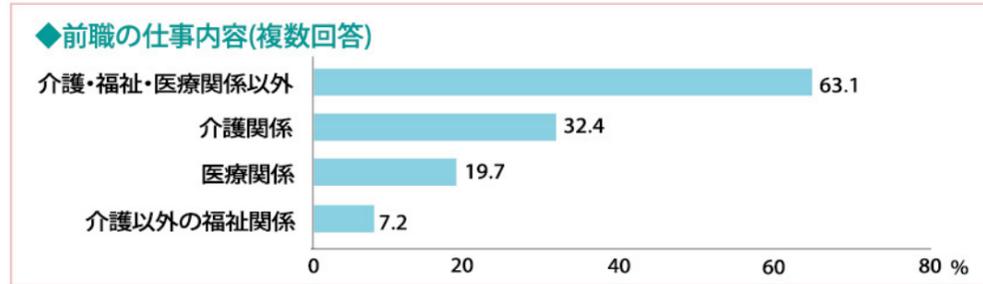
デイサービスやデイケアなど、通所型では日中のみのサービスで、週末はお休みであることも。施設・事業所ごとに求められる働き方が異なり、それに伴いお休みの取り方も変わります。

※参考:令和3年度 福島県福祉人材センター求人における平均値



Q1 経験や資格がなくても大丈夫ですか？

A1 前職がある方のうち、6割以上の方が福祉以外の仕事からの転職者です。資格のない方は、入職してから先輩職員に実際に教えてもらいながら働いています。職場内の研修で技術や知識を習得し、働きながら福祉の資格を取得する方もいます。



参考：令和3年度介護労働実態調査（公益財団法人介護労働安定センター）

Q2 初めてでも挑戦できる介護の資格はありますか？

A2 「介護職員初任者研修」は介護に関する基本の知識や技術を習得できるため、初めての方でも取りやすい資格です。介護職員のうち、5割以上の方がホームヘルパー2級、介護職員初任者研修のいずれかを取得しており、働きながらの取得も可能です。（ホームヘルパー2級は2013年4月の制度変更に伴い、現在の介護職員初任者研修へと名称変更されています。）

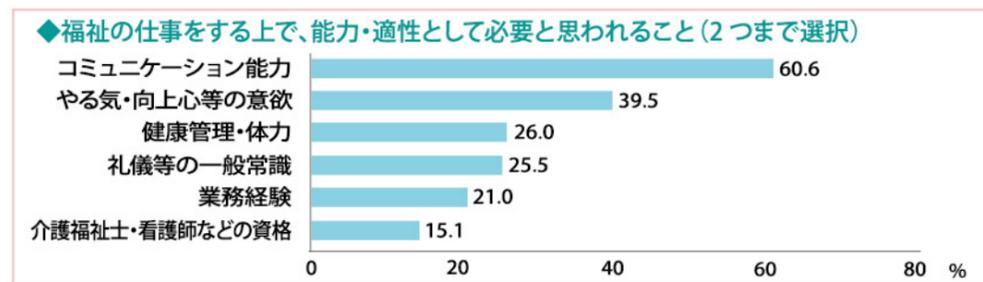
◆研修内容

受講時間	130時間の講義・演習と必要に応じて実習（その他、修了評価として筆記試験）
受講対象者	介護の業務に従事しようとする者
内容	在宅・施設において、基本的な介護業務を行うために必要な知識・技術、考え方のプロセスを学ぶ

参考：令和3年度介護労働実態調査（公益財団法人介護労働安定センター）

Q3 どんな人が福祉・介護の仕事に求められていますか？

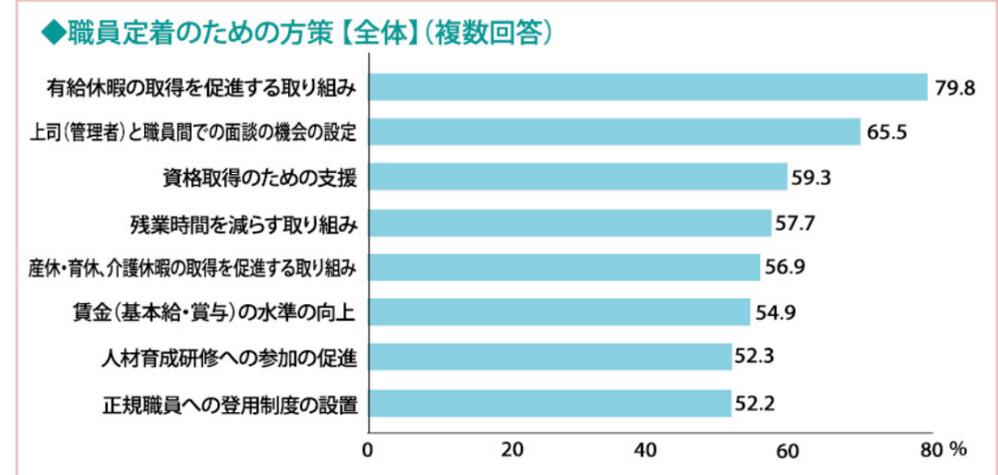
A3 コミュニケーション能力や仕事への意欲の高い人が求められています。



参考：令和2年度福祉施設・事業所職員就業意識調査（社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター）

Q4 長く働き続けられるか不安です。

A4 福祉・介護の施設では働きやすい職場づくりに取り組んでおり、有給休暇の取得促進や、上司との面談、資格取得支援など、職員が長く働き続けられるような工夫がされています。



参考：令和3年度福祉人材の確保・育成・定着に関する調査報告書（社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター）

Q5 福祉の資格を取ってからブランクがあるのですが…。

A5 資格を取得してから福祉の職場に勤務した経験がない方や、これから就職するにあたって不安を抱えている方には「施設見学」をお勧めしています。福祉の職場には、見学や体験ができる場所がたくさんあります。施設の雰囲気や働いている職員の様子を実際に見ることで、働くイメージをもつことができます。就職後のミスマッチを防ぐためにも多くの施設を訪れてみてください。

Q6 どのように就職活動を進めたらよいかわかりません。

A6 まずは、福祉人材センターにご相談ください。人材センターでは求職者の皆様のご相談から就職まで、きめ細やかにサポートいたします。次のページで詳しくご紹介しますので、ご覧ください！



福島県福祉人材センターでは、職業安定法により
無料職業紹介事業を行っております。
求職登録をしていただきますと、
ご相談内容に合わせて担当職員が丁寧にご対応いたします。

福祉人材センターに相談してみよう!



職場は
どんな雰囲気?

福祉・介護の仕事に
興味があるけど、
迷っている...

家庭との両立は
できる?

みなさまの ご相談を お受けします!

自分に合った
就職先を
見つけたい!

求職登録すると...

就職活動を個別にサポート

定期的な求人情報送付、希望条件に近い求人をご案内するなど、就職のお手伝いをさせていただきます。登録がなくても、福祉に関するご相談を受け付けています。お気軽にお問い合わせください。



職場見学の調整

福祉・介護のお仕事を探るポイントとなる『職場見学』を調整し、施設・事業所の雰囲気を伝えるサポートをします。その後、気になる求人があれば紹介状を発行いたします。



イベントのご案内

就職説明会や職場体験など、福祉に関するイベントの情報をお届けします。



福祉人材センターを活用した、就職までの流れ

相談

キャリア支援専門員が個別に相談に応じます。県内各地で開催する相談会もぜひご利用ください。



個別で相談を
お受けします

求職登録

来所・郵送・WEBで求職登録
ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事 検索

<https://www.fukushi-work.jp/>



WEBからの登録、
求人情報閲覧は
こちらから

情報提供・見学調整

求人情報を月2回程度ご自宅に郵送します。
気になる施設・事業所の見学調整もいたします。



見学で職場の
雰囲気が
わかります

応募・選考

応募を希望する福祉の職
場へ紹介状を発行し、面
接等の調整を行います。



履歴書の書き方
などもご相談
ください

就職決定



福島県福祉人材センターでは、求人紹介のほか仕事内容や資格取得方法など、仕事に就くまでの幅広い相談に応じています。お電話やメールでのご相談も可能ですので、ぜひお気軽にご利用ください。

福祉人材センターへのお問い合わせ

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 **福島県福祉人材センター**
TEL 024-521-5662【受付時間 平日9:00~17:00】
E-mail : jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

福祉・介護の仕事に関する資料のご案内

福島県福祉人材センターでは、福祉・介護の仕事に関する資料や動画を制作しています。また、ホームページにはこのほかの資料や、就職、資格に関する情報を随時アップしています。下記のQRコードよりご覧いただけますので、ぜひアクセスしてみてください。



福祉の仕事ガイドブック だから、一生の仕事。

福祉の仕事の全体像・資格についてお伝えしています。



就職活動ハンドブック

就職活動のための準備や、採用までの流れがわかります。



転職者・再就職者向け福祉の仕事ガイド 「できる？」を「できる！」に ココロハレバレ福祉 Q&A

福祉とは全く異なる業種から転職・再就職した先輩たちの仕事の様子や、福祉の道を選んだきっかけ、やりがいなどがわかります。



福祉の職場に転職した先輩からの スタートメッセージ

仕事内容や雇用形態など、初めて福祉の仕事に関わる人にもわかりやすく紹介しています。



社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

福島県福祉人材センター

お問い合わせ

TEL 024-521-5662

〒960-8141 福島県福島市渡利字七社宮111番地

ホームページ <https://f-fjc.com/>

